

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 9月30日

福岡地方裁判所小倉支部第1民事部

裁判所書記官 白 土 正 之

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年10月15日から 令和 7年10月22日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 7年10月29日 午前10時00分 福岡地方裁判所小倉支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 7年11月12日 午前10時00分 福岡地方裁判所小倉支部第1民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行、保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書	
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年9月30日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	13, 580, 000 10, 864, 000	一括	2, 716, 000	80, 462	34, 483
1	1, 950, 000				
2	11, 630, 000				



物 件 目 録

- 1 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目
地 番 1843 番 64
地 目 宅地
地 積 164.93 平方メートル
- 2 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目 1843 番地 64
家屋 番号 1843 番 64
種 類 居宅
構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建
床 面 積 1 階 66.24 平方メートル
2 階 39.74 平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 5月26日

福岡地方裁判所小倉支部第1民事部

裁判所書記官 白 土 正 之

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 上記各種「詳細説明」は当庁物件閲覧室に別ファイルとして備え付けています。

物 件 目 録

- 1 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目
地 番 1843番64
地 目 宅地
地 積 164.93平方メートル
- 2 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目 1843番地64
家屋 番号 1843番64
種 類 居宅
構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 66.24平方メートル
2階 39.74平方メートル



令和7年(ケ)第20号
令和7年4月8日受理
令和7年4月28日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所小倉支部

執行官 小 柳 智 児

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目
地 番 1843番64
地 目 宅地
地 積 164.93平方メートル
- 2 所 在 北九州市小倉北区高尾一丁目 1843番地64
家屋 番号 1843番64
種 類 居宅
構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 66.24平方メートル
2階 39.74平方メートル

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	北九州市小倉北区高尾一丁目34番7号		
土地	物件 1		
現況地目	☒ 宅地（物件 1 ） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件 2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■所有者	1 本件建物には、私たち家族3人が住んでいます。 2 本件土地・建物内には第三者の所有物はありません。 3 本件建物は、築2年程度しか経っていないので、雨漏りやシロアリ被害等は無く、その他特段の損傷也没有ありません。 4 不具合としては、玄関ドアのオートロック機能が故障しています。 5 キッチンの換気扇の辺りで喫煙していますが、ヤニ汚れはありません。 6 自分自身で外構工事を施していましたが、現在は中断したままになっています。 7 隣接地との間で境界争い等はありません。 8 本件土地は令和4年12月に購入しましたが、不動産業者から当地で殺人事件があったと聞いています。重要事項説明では「2015年1月6日小倉北区高尾で殺人事件が起きました。」とだけ記載がありましたが、その詳細は聞いていません。 9 購入した当時は本件土地は既に更地となっていたましたが、購入価格は少し安くなっていました。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■ (接道について)

本件土地は、公図のとおり、公衆用道路（１８４３番１７０）に接道している。

(土地形状等について)

本件土地は、団地として造成、区画された傾斜地に位置する土地であり、地積測量図が存在する（ただし、現地復元性の有無については不明。）。

接面道路との間には０～約１．２ｍの段差が存し、隣接地（１８４３番６５）よりも約１．２ｍ低く、隣接地（１８４３番６３）よりも約１．２ｍ高くなっている。また、隣接地（１８４３番８３）よりも約２ｍ高く、隣接地（１８４３番８２）よりも約３ｍ高い。

境界と思われる付近にはコンクリート擁壁及びコンクリートブロック塀等が存し、現地の形状等と上記図面の形状等はほぼ一致すると思われるが、境界標等は現地で確認できなかった。

(本件土地及び建物等の占有状況について)

関係人の陳述、立入調査の結果等から２枚目記載のとおりと認めた。

(本件建物の損傷状況等について)

関係人の陳述のとおり。

(その他)

不自然死が発生した旨の情報を得たが、所有者が本件土地を取得したときには、本件土地は既に更地となっていたとのことである。

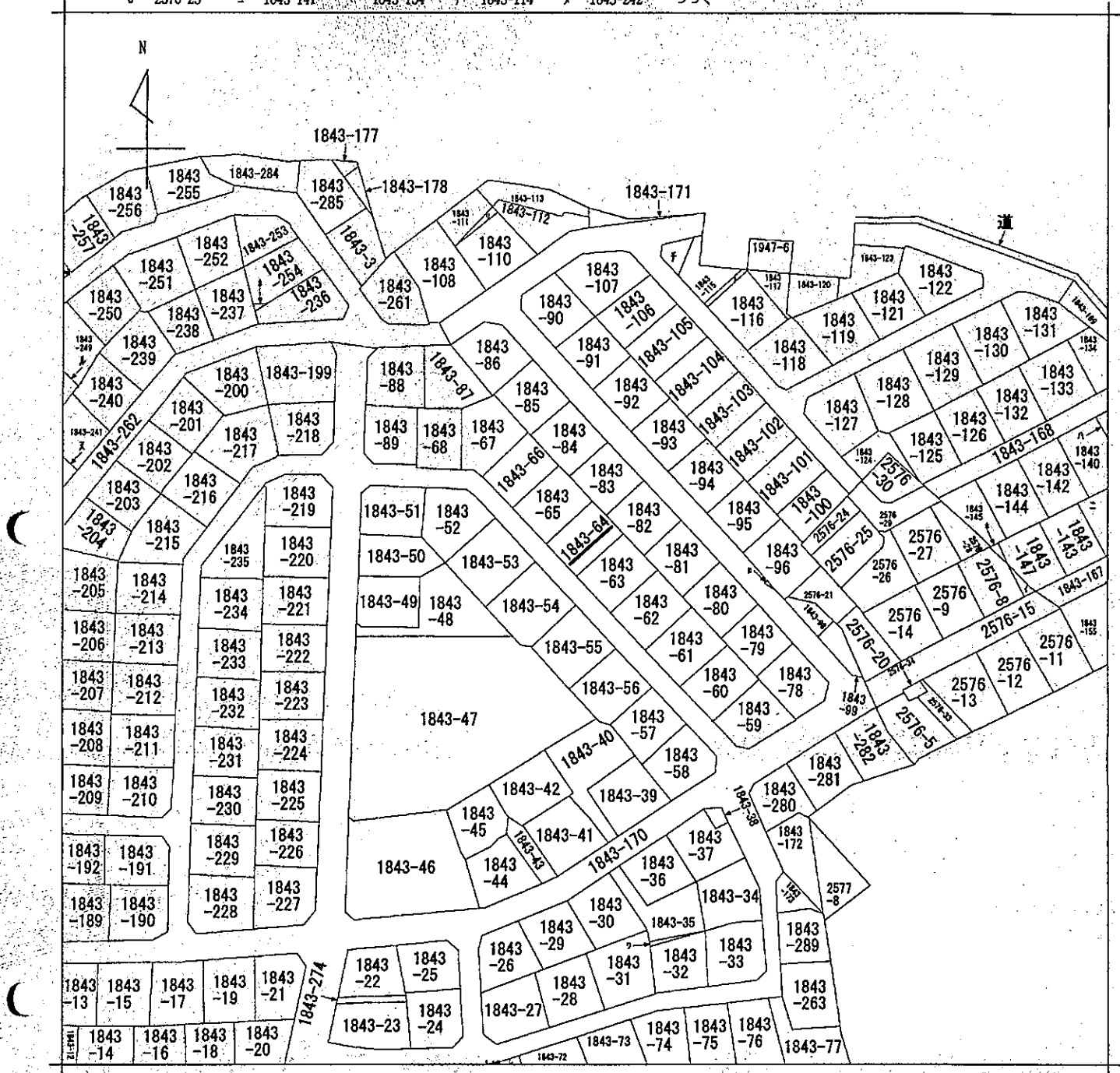
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 7年 4月8日 (火) 9:30 - 9:40	執行官室	建物図面請求
R 7年 4月8日 (火) 13:00 - 13:10	執行官室	ライフライン調査 (北九州市上下水道局)
R 7年 4月11日 (金) 10:30 - 10:55	物件所在地	現地特定, 占有調査, 写真撮影
R 7年 4月11日 (金) 11:20 - 11:40	福岡法務局 北九州支局	公図, 地積測量図, 建物図面等の調査 登記事項要約書交付申請
R 7年 4月11日 (金) 14:10 - 14:20	執行官室	占有状況等について所有者に文書照会 立入調査への協力依頼書送付
R 7年 4月15日 (火) 14:10 - 14:20	執行官室	占有状況等について所有者から聴取 (電話) 立入調査期日の調整
R 7年 4月21日 (月) 12:50 - 13:55	物件所在地	立入調査, 写真撮影 所有者と面談
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 解錠技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注)チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

1 2576-7 1843-138 1843-146 1843-164 1843-160 1843-248
0 2576-23 1843-141 1843-154 1843-114 1843-242 つづく



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求 部	所 在	北九州市小倉北区高尾一丁目				地 番	1843番64			
出 力 縮 尺	縮尺不明	精 度 区 分		座標系 番号又は 記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作 成 年 月 日					備 付 年 月 日 (原図)			補 記 事 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

A 4 判に縮小

令和7年4月11日
福岡法務局北九州支局
登記官

請求番号: 12-1
(1/2)

(6枚目)

公用

チ 1843-258
ワ 1843-266
カ 1843-288
ヨ 1843-290
タ 1843-174
レ 1843-264
ソ 1843-278
ゲ 1843-300
ネ 1843-308

登記年月日：昭和56年4月10日

公用

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月11日 福岡法務局北九州支局

登記官

(8枚目)

331462

前/843-3 後新

地籍測量図

土地所在図

地籍番号 /843-3

1843-5 ~ 1843-68

土地の所在 北九州市小倉北区新見一丁目



作製者

(昭和56年4月4日作製)

申請人

1/2000

請求番号：12-2
A4判に縮小
(1/64)

登記年月日：昭和56年4月10日

これは図面に記載されている内容を実証した書面である。
令和7年4月11日 福岡法務局北九州支局

(9枚目)

登記官

A4判に縮小

請求番号：12-2

前1843-3 後・新・地 積測量図
1843-64

331521

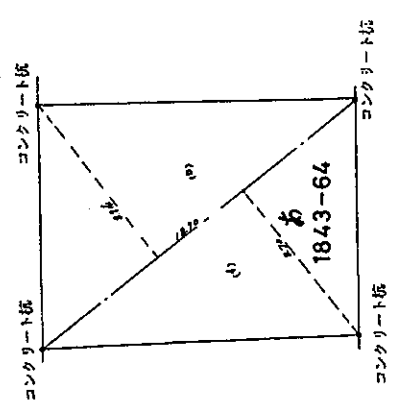
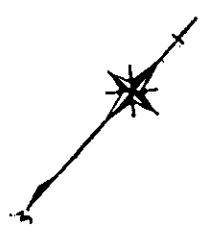
地籍調査区

土地の所在

北九州市小倉北区高尾一丁目

69/64

56 4 10



あ. 1843-64地積求積表

テイハン X	タカ	ニ	ハイメン
4.18.70 X	8.70	=	162.6900
4.18.70 X	8.94	=	167.1780
ハイメン			329.8680
タカ			164.93400
*****			*****

申請人

(昭和56年4月4日作製)

(福岡県土地家屋調査士会北九州支部)

土地家屋調査士

作製者

1/250

(60/64)

登記年月日：令和5年3月23日

公用

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月11日 福岡法務局北九州支局

登記官

A4判に縮小

請求番号：12-3

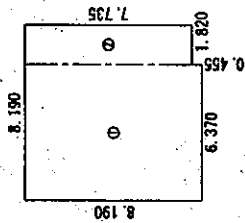
各階平面図

建物図面

家屋番号 1843番64

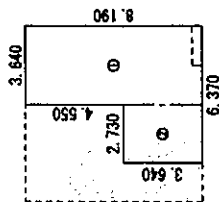
建築物の所在 北九州市小倉北区高尾一丁目1843番地64

1階

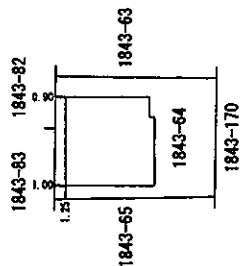
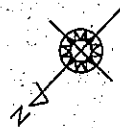


求積表	
①	$6.370 \times 8.190 = 52.170300$
②	$1.820 \times 7.735 = 14.077700$
合計	66.248000
床面積	66.24 m ²

2階



求積表	
①	$3.640 \times 8.190 = 29.811600$
②	$2.730 \times 3.640 = 9.937200$
合計	39.748800
床面積	39.74 m ²



作成者

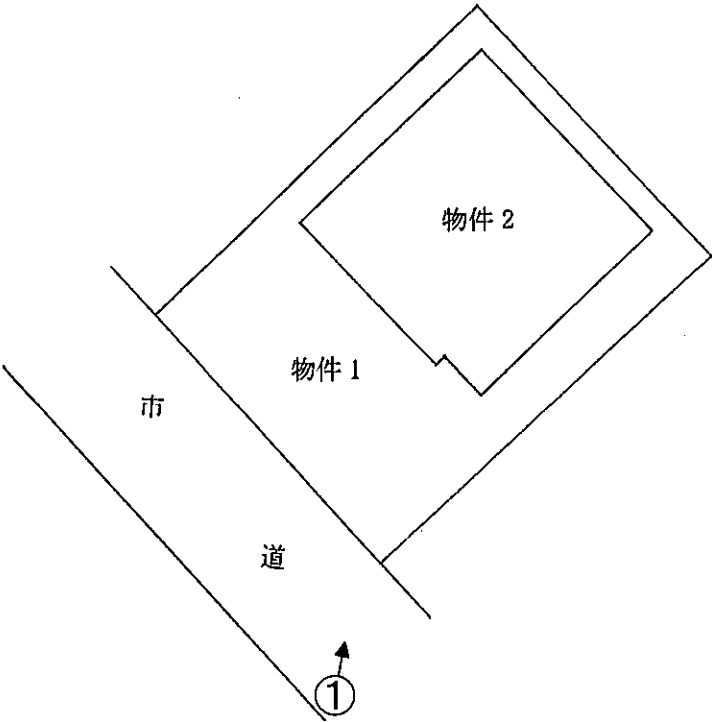
縮尺 250

申請人

縮尺 500

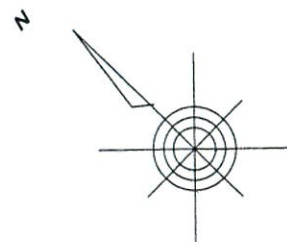
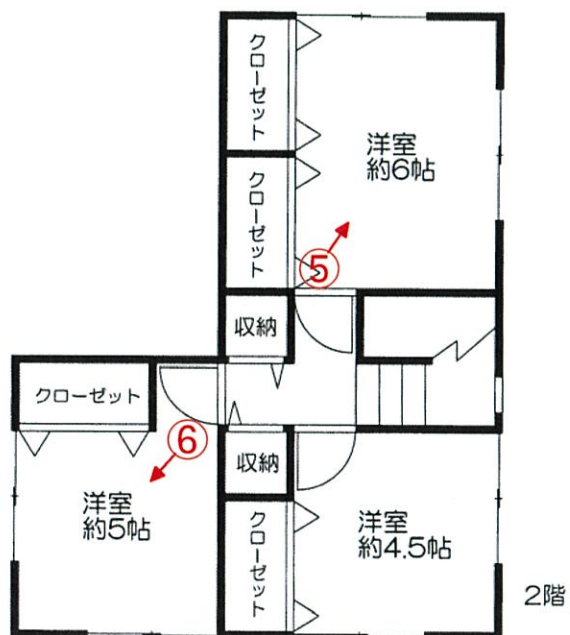
土地建物位置関係図（概略）

写真撮影位置方向



間 取 図

↑ 写真撮影位置方向





No. 1

本件土地及び建物を撮影



No. 2

本件建物の室内を撮影



No. 3

同 上



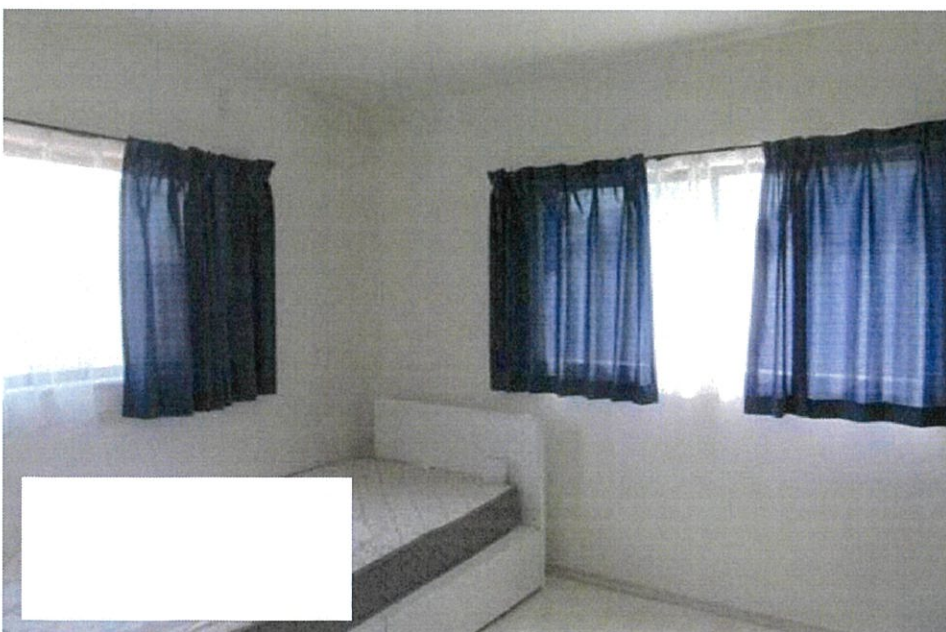
No. 4

本件建物の室内を撮影



No. 5

同 上



No. 6

同 上

令和 7 年（ケ）第 20 号
令和 7 年 4 月 21 日 現地調査
令和 7 年 5 月 9 日 評 価

福岡地方裁判所小倉支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
境 達 司

第1 評価額

一括価格	
金 19,400,000 円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 2,780,000 円
物件2（建物）	金 16,620,000 円

- ① 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	北九州市小倉北区高尾一丁目 1843番64 宅地 164.93 m ²	特記事項のとおり
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	北九州市小倉北区高尾一丁目 1843番地64 1843番64 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1階 66.24 m ² 2階 39.74 m ²	同上
番号	特 記 事 項		
1	数量については、形状、規模及び利用の状況等により、現地での詳細な測定ができなかったが、地積測量図が存しており、現地調査の結果、現況数量と登記数量に大きな差異があるとは把握されなかったので、評価は登記数量により行った。		
2	現況は、2階建の居宅であり、登記内容とほぼ一致している。数量については、建物図面があり、現地調査の結果、増築等があるとは把握されなかったので、評価は登記数量により行った。		
住 居 表 示	北九州市小倉北区高尾一丁目34番7号		

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	J R日豊本線「南小倉」駅の南西方、約940m。 西鉄バス「愛の家車庫」停留所の北方、約370m。 (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	目的物件は、小倉北区市街地南部の傾斜地に存する既成住宅地域に存している。画地配置が整然としており、戸建住宅が建ち並んでいる。地域環境等が大きく変化する要因はなく、土地利用は現状維持程度で推移すると予測する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 60% 200% 防火地域と準防火地域の指定はない。 宅地造成等工事規制区域ほか
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 奥 行 接 道 関 係 そ の 他	164.93㎡ (登記地積) ほぼ長方形 (別添「地積測量図(写)」参照。) 約10.9m 約14.8m 一方路地 特になし
接 面 道 路 の 状 況	南西側で幅員約4.7mの舗装市道とほぼ等高～約1.2m高位接面（建築基準法第42条第1項第1号の道路に該当）。	
土 地 の 利 用 状 況 等	「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガス配管 : なし 下 水 道 : あり (注) 敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みがある場合、「なし」とは引き込みがない場合である。	
特 記 事 項	・現地調査、当事者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地外。 ・周囲の境界と思われる付近には、擁壁、側溝等が存している。 ・北西側隣地（1843番65）より約1.2m低い。南東側隣地（1843番63）より約1.2m高い。北東側隣地の北側部分（1843番83）より約2m高い。北東側隣地の南側部分（1843番82）より約3m高い。当該地勢等の状況は、地域において標準的である。 ・平成27年（2015年）に目的土地において殺人事件が起きたが、目的土地にあった事件当時の建物は取り壊されたとの情報がある。 ・外構工事が未完成であり、駐車スペース等に舗装などが無い、玄関ポーチとアプローチの段差が大きい、擁壁から鉄筋が出ている等の状況にある。	

2. 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：令和5年3月19日 新築 経 過 年 数：約 3 年 経済的全耐用年数：約 30 年 経済的残存耐用年数：約 27 年
仕 様	構 造：木造2階建 屋 根：合金メッキ鋼板ぶき 外 壁：サイディング貼り ほか 天 井：ビニールクロス貼り ほか 床 ：フローリング ほか 内 壁：ビニールクロス貼り ほか 設 備：電気、上下水道 等 そ の 他：オール電化
床面積（現況）	未登記の増築並びに滅失部分はなく、登記上の床面積とほぼ同様である。
現 況 用 途 等	現 況 用 途：居宅 間 取 り：3LDK（別添「間取図」参照。）
品 等	使用資材：普通 施工状態：普通
保守管理の状態	普通（玄関ドアのオートロック機能が故障している等の状況にあるが、老朽化等の発生の程度は概ね経年相当である。）
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	建物に付属する各種設備については、動作確認まではできないため、使用可能かどうか不明である。

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	46,900	1.00	164.93	0.95	7,350,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格：標準地「北九州小倉北-19」の公示価格等と比準して査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 48,300\text{円/㎡} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{103} & = & 46,900\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：補正要因なし 1.00

◇ 地 域 格 差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
1.00 × 1.00 × 1.03 × 1.00 = 1.03

イ 個 別 格 差：増減価要
因なし 個別格差
1.00 = 1.00

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ
2	280,000	105.98	0.79	23,440,000

イ 現況延床面積： 登記数量による。

ウ 現価率：（定率法）

減価修正にあたっては、耐用年数に基づく方法のうち定率法を採用し、それにより求めた現価率を基本として、これに観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

$$\text{物件2: } R \times \frac{n}{N} \times (1 \pm q) = 0.79 \times 1.00 = 0.79$$

項 目	物件区分 物件2
R : 残価率	10%
n : 経過年数	約3年
N : 経済的全耐用年数	約30年
q : 観察減価法による補正率	0%

* 観察減価法による補正率は、保守管理の状態等を考慮。

2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	7,350,000	0.40	法定地上権	2,940,000

イ 土地利用権等割合： 土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を40%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	7,350,000	－ 2,940,000		0.90	0.70	2,780,000
2	23,440,000	＋ 2,940,000	1.00	0.90	0.70	16,620,000
一 括 価 格 (合 計)						19,400,000

ウ 占有減価修正： 修正の必要はない。

エ 市場性修正： 約10年前に目的土地で殺人事件があったとの情報があること、外構工事が未完成であること等により、市場性に劣るため、－10%の市場性修正を行う。

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地 価 公 示 価 格 : 標準地「北九州小倉北-19」
所 在 : 北九州市小倉北区高尾1丁目1843番247
住 居 表 示 : 高尾1-36-11
価 格 : 48,300 円/㎡ (対前年変動率 ±0.0%)
価 格 時 点 : 令和7年1月1日
地 積 : 175 ㎡
地 域 の 概 要 : 中規模一般住宅が多い閑静な高台の住宅地域
接 面 街 路 : 北西側幅員4.7m市道
供 給 処 理 施 設 : 水道、ガス、下水
位 置 : JR鹿児島本線「南小倉」駅の南西方、道路距離1.5km。
用 途 指 定 等 : 市街化区域

第1種中高層住居専用地域(建ぺい率60%、容積率200%)

第7 附属資料の表示

1 位置図	2 葉
2 公図(写)	1 葉
3 地積測量図(写)	2 葉
4 建物図面・各階平面図(写)	1 葉
5 土地建物位置関係図	1 葉
6 間取図	1 葉
7 写真撮影位置図	1 葉
8 現況写真	1 葉

(BIT用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照。)

以 上



目的物件

